

令和5年度 服薬適正化事業について



1 事業概要・目的

本事業は、所沢市医師会、所沢市薬剤師会、明治薬科大学、所沢市の4者による連携事業です。

令和5年度の事業では、令和2年度～令和4年度に引き続き、ポリファーマシーに重点を置いた、かかりつけ医・かかりつけ薬局の推進による服薬の適正化事業を実施しました。

具体的には、処方された内服薬について、服薬上の問題（多剤服薬に伴う有害事象発生、重複服薬、残薬発生等）が疑われる所沢市国民健康保険被保険者（以下「国保被保険者」という。）を対象に、以下2つの事業を実施しました。

【1】通知「服薬情報に関するお知らせ」等による周知啓発

- ・服薬情報を掲載した通知「服薬情報に関するお知らせ」を令和5年1月～3月に抽出した対象者へ送付し、対象者が通知を提示することで、相談しやすい環境を作る。
- ・事業の周知啓発ポスターを医療機関・薬局に掲示いただき、事業対象者や一般の方がポスターを見ることで、相談しやすい環境を作る。
- ・かかりつけ医・かかりつけ薬局から積極的に声掛けをすることで、より抵抗感無く相談しやすい環境を作る。

【2】お薬相談会（お薬相談事業）の開催

- ・事業対象者または国保被保険者及び市在住の埼玉県後期高齢者医療制度被保険者（以下「後期被保険者」という。）を対象にお薬相談会を開催し、多剤服薬や重複服薬、飲み残し薬など、正しい薬の飲み方について相談する機会を提供する。
- ・事業同意者にはヒアリングを行い、必要に応じてかかりつけ医・かかりつけ薬局で調整を行い、服薬適正化や医療費適正化を図る。

2 市や事業の人数等について

■ 対象者

令和5年1月から3月の調剤レセプトを抽出し、以下要件に該当する527人に対して、お薬相談事業案内通知等を送付しました。

□ 共通要件

- ① 40歳から84歳（令和6年3月末時点）までの国保被保険者、又は後期被保険者
- ② かかりつけの医療機関・薬局が市内に1つでもある方
※ 入院外の調剤レセプトのうち、内服薬に限る
- ③ 処方元医療機関・薬局が1つでも所沢市内の方

□ 個別要件

- ① 多剤服薬：6種類以上の薬剤をひと月あたり14日以上服薬した月が、3ヶ月の間に2回以上
※ ICD10コードで、C00-C97（悪性新生物（腫瘍））、F00-F99（精神および行動の障害）N18（慢性腎不全）を除く
- ② 重複服薬：同一薬剤又は同様の効能・効果を持つ薬剤を2箇所以上の医療機関から処方された月が、3ヶ月の間に2回以上
※ ICD10コードで、C00-C97（悪性新生物（腫瘍））、N18（慢性腎不全）を除く

■ お薬相談会参加者・事業同意者

令和5年8月26日（市役所1階市民ホール）、9月20日（市役所8階大会議室）にてお薬相談会兼血管年齢測定会を開催しました。参加者は14人で、そのうち多剤重複服薬該当者は9人でした。また、該当者9人全員が事業に同意をされました。

3 効果検証

検証には、患者面談ヒアリングシートや各種アンケート等の資料を使用し、お薬相談会でのヒアリング状況やかかりつけ薬局での対応結果等の実態調査や、医療機関・薬局に対するポリファーマシーに関するアンケート調査を行いました。

患者面談ヒアリングシート等は所沢市薬剤師会で集計し、その後、市で集計データやレセプトデータを用いて事業の分析・検証を行いました。その後、薬剤師会理事による助言を受け、事業の評価を行いました。

■ 検証期間

- ・ 比較前：抽出期間（令和5年1月から3月）
- ・ 比較後：検証期間（令和5年9月から11月）

■ 検証対象者

対象者527人のうち、下記除外者を除いた470人を検証対象者としました。

□ 除外要件

- ①検証期間終了時点である令和5年11月末時点での資格喪失者
- ②対象者の抽出から検証期間（令和5年9月から11月）に入院レセプトがある者

□ 各介入別の状況 *1

	総計		多剤		重複		多剤・重複		
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
通知対象者	事業同意者 (お薬相談会参加者)	9人	1.7%	7人	1.3%	2人	0.4%	0人	0.0%
	事業不同意者	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
	お薬相談会不参加	518人	98.3%	459人	87.1%	49人	9.3%	10人	1.9%
	通知対象者合計	527人	100.0%	466人	88.4%	51人	9.7%	10人	1.9%
除外者	資格喪失	3人	0.6%						
	入院有	45人	8.5%						
レセプトデータ検証対象者		470人	89.2%						

*1 介入区分の表記は、「A」：通知実施、相談会参加、同意有り（情報提供実施）、「B」：通知実施、相談会参加、同意無し（情報提供未実施）、「C」：通知実施、相談会不参加、同意無し（情報提供未実施）、「検証対象外」：令和3年11月末日時点で資格喪失している方や対象者の抽出期間及び事業の実施期間に入院レセプトの有る方、を表します。

■ 検証内容

① 患者面談ヒアリングシート等に係る検証

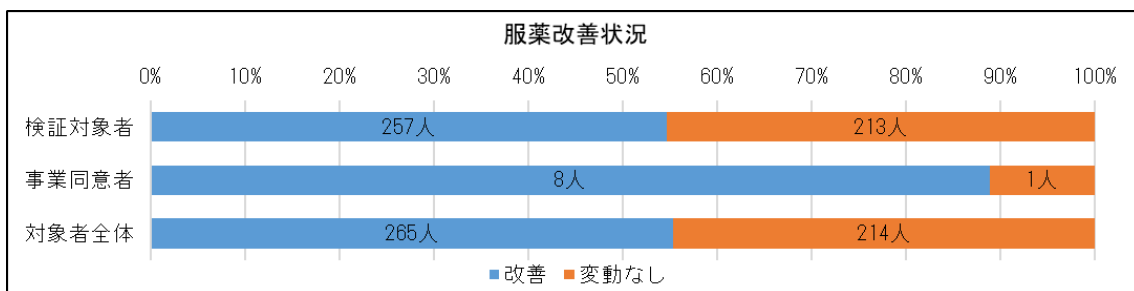
事業同意者9人は、最後までヒアリングを実施したため、9人全員を検証対象者としました。お薬相談会時にヒアリングした結果として、処方変更等の必要性がある方が6人、そのうち、情報提供につながった方は2人、処方変更につながった方は1人でした。

また、相談会時は処方変更の必要無しだった方で、薬剤師とのヒアリングの結果、減薬や残薬調整された方も1人いました。

② レセプトデータ等に係る検証

検証1：検証対象者と事業同意者の改善状況について検証 *2

行動変容	検証対象者		事業同意者		対象者全体	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
改善	257人	54.7%	8人	88.9%	265人	55.3%
変動なし	213人	45.3%	1人	11.1%	214人	44.7%
合計	470人	100.0%	9人	100.0%	479人	100.0%



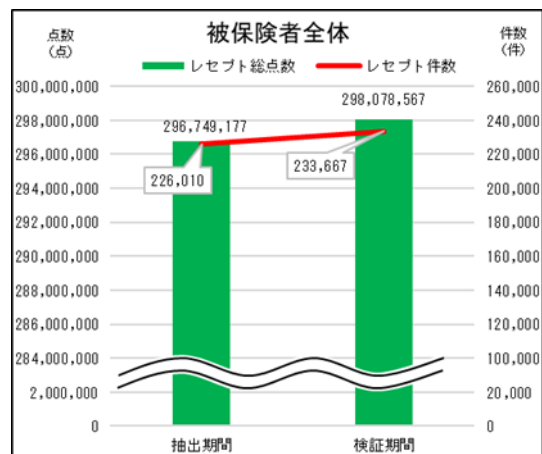
検証対象者と事業同意者479人のうち、55.3%（265人）の改善が見受けられました。

検証2：調剤レセプト件数・総点数の推移

□ 被保険者全体

処方年月	レセプト件数	レセプト総点数	
抽出期間	R5.1	72,677	96,323,818
	R5.2	72,921	93,142,911
	R5.3	80,412	107,282,448
	R5.1-3計①	226,010	296,749,177
検証期間	R5.9	77,380	100,060,950
	R5.10	79,417	100,807,782
	R5.11	76,870	97,209,835
	R5.9-11計②	233,667	298,078,567
総計	459,677	594,827,744	
差分(②-①)	7,657	1,329,390	
減少率	-3.39%	-0.45%	

件数は3.39ポイント、
点数は0.45ポイント増加

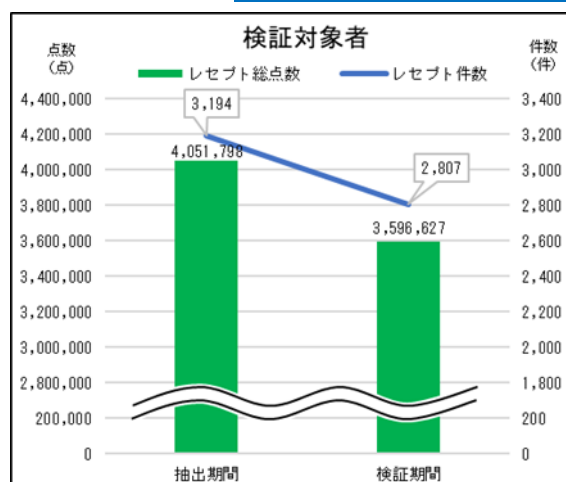


*2 改善の定義について、多剤は、抽出期間と検証期間を比較して平均医薬品数が減少しており、かつ薬剤費が減少している方、重複は、検証期間に重複服薬が発生していない方としています。

□ 検証対象者（４７０人）

処方年月		レセプト件数	レセプト総点数
抽出期間	R5.1	1,091	1,458,690
	R5.2	945	1,015,779
	R5.3	1,151	1,572,131
	R5.1-3計①	3,187	4,046,600
検証期間	R5.9	942	1,282,212
	R5.10	927	1,156,060
	R5.11	932	1,153,000
	R5.9-11計②	2,800	3,591,272
総計		5,987	7,637,872
差分(②-①)		-387	-455,328
減少率		12.14%	11.25%

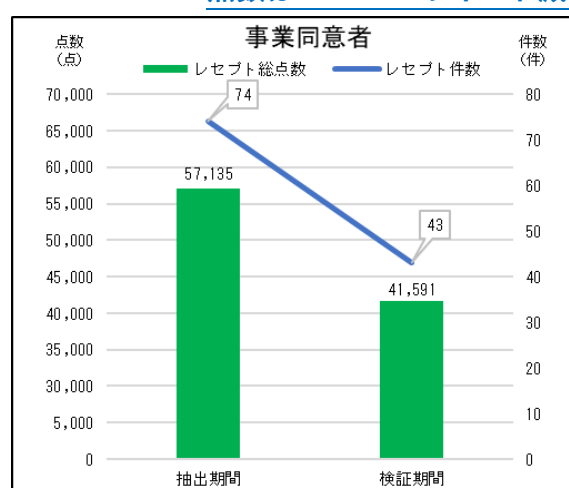
件数は12.14ポイント、
点数は11.25ポイント減少



□ 事業同意者（９人）

処方年月		レセプト件数	レセプト総点数
抽出期間	R5.1	28	21,098
	R5.2	23	16,808
	R5.3	31	24,427
	R5.1-3計①	81	62,333
検証期間	R5.9	16	17,448
	R5.10	16	16,232
	R5.11	16	13,266
	R5.9-11計②	48	46,946
総計		129	10,929
差分(②-①)		-33	-15,387
減少率		40.74%	24.69%

件数は40.74ポイント、
点数は24.69ポイント減少



被保険者全体が悪化している中、検証対象者、事業同意者は改善が図られました。また、検証対象者以上に、事業同意者の改善が図られています。

③ 各種アンケートによる検証

□ お薬相談会参加者アンケート 回答率：100%（9人／9人）

- ・事業対象者のうち、お薬相談会に参加された方に対するアンケートです。
- ・お薬相談会のアンケート集計結果では、参加者全員から「参加して良かった」と回答されました。
- ・参加に至った理由として「薬の悩みがあった」、「自分からは聞きづらい」という声があり、多くの方が薬の量について悩まれていました。

□ 医療機関アンケート 回答率：約45%（77機関／170機関）

- ・事業の協力依頼を行った、医師会会員医療機関に対するアンケートです。
- ・令和4年度よりも、回収率が下がっています。（令和4年度：約48%（82機関／172機関）で約3ポイント減少）。

- ・医師会会員医療機関のアンケート集計結果では、これまでの本事業の効果もあり「従来から意識していた」という声が多くありました。

□ 薬局アンケート 回答率：約86%（79薬局／92薬局）

- ・事業の協力依頼を行った、薬剤師会会員薬局に対するアンケートです。
- ・令和4年度よりも、多くの薬局にご回答いただきました（令和4年度：約76% 70／92薬局）で約10ポイント上昇）。
- ・薬剤師会会員薬局のアンケート集計結果では、医療機関アンケート同様、これまでの本事業の効果もあり「従来から意識していた」という声が多くありました。

□ 薬剤師会非会員薬局アンケート 回答率：100%（3薬局／3薬局）

- ・事業同意者がかかりつけ薬局として指定したことにより、事業の協力依頼を行った、薬剤師会非会員薬局に対するアンケートです。

薬剤師会非会員薬局のアンケート集計結果では、回答された全ての薬局より、本事業が「日々の業務の役に立った」という回答をいただきました。

4 検証結果・まとめ

■ 令和5年度事業・今後について

事業全体の検証結果は以下のとおりです。

参考資料	検証結果
①患者面談ヒアリングシート ②お薬相談会参加者アンケート ③お薬相談会不参加者アンケート ④通知「服薬情報に関するお知らせ」	<p>処方変更の必要性有無に限らず、悩み等を医師や薬剤師に話せていない方が多い。また、お薬相談会を機に処方変更につながった方もいた。普段は相談しづらい方も多いことが分かったので、「お薬相談会」という場の必要性を再認識した。お薬相談会の開催回数や参加者数にも限りがあるので、引き続き、医療機関や薬局等の協力が必要であることが確認できた。</p> <p>しかし、今年度は後期の方が対象者として多く上がり、メインの国保対象者が少ない結果となった。また、一般の参加者で予約枠を埋めないように、お薬相談会の宣伝を通知物のみにした影響か、お薬相談会の参加人数が少なかった。</p> <p>また、レセプトから一定条件該当者を対象者としているが、問題のない方も含まれている。条件の見直しとともに、対象者への通知方法を検討する必要がある。</p>
① レセプトデータ	<p>検証対象者のうち、改善したと思われる者*³は約54.7%だった。また、レセプト件数やレセプト総点数について、被保険者全体と比較して、検証対象者は改善が図られたが、それ以上に、事業同意者の改善が図られた。</p>
①医師会会員医療機関アンケート ②薬剤師会会員アンケート ③薬剤師会非会員アンケート ④通知「服薬情報に関するお知らせ」	<p>医療機関・薬局共に「従来から意識していた」という回答や、事業期間の声掛けについても「普段どおりに声掛けを行った」という回答も多く、令和2年度開始以降、本事業を継続して実施したことにより、医療機関や薬局の意識向上等が分かる結果となった。</p> <p>一方、重複服用対象者個々の服薬状況を確認すると、要因となった同一薬効の薬剤について、複数の医療機関の処方箋を1薬局で同一日に調剤しているケースや、精神科以外が抗不安剤、睡眠剤を処方しているケース、まだ残薬が多く残っている状況で同薬局にて同じ薬を処方しているケース等が見</p>

*³ 改善の定義について、多剤は、抽出期間と検証期間を比較して平均医薬品数が減少しており、かつ薬剤費が減少している方、重複は、検証期間に重複服薬が発生していない方としております。

受けられた。各医療機関や薬局においては、適正な処方、調剤であっても結果として過剰投与となるケースについて、さらに注意深く確認していただく必要がある事が確認できた。

また、本事業を開始してからの4年間について、医科（外来）の1人当たり医療費点数を市・県・国別に確認すると、上昇傾向にあります。令和5年度に係る市（被保険者）については、ほぼ横ばい状態にあることが分かりました（令和6年3月7日時点）。

以上の結果より、本事業を実施することにより、微力ながらも被保険者等の健康増進や、かかりつけ医・かかりつけ薬局の推進に寄与したと考えられます。

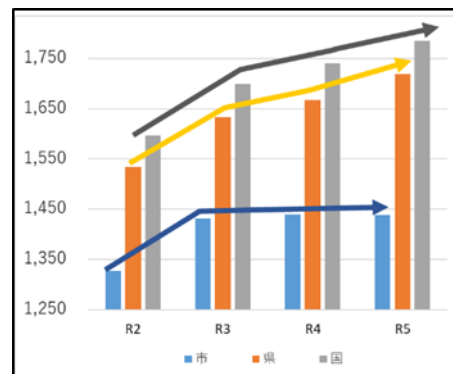
今後もポリファーマシーに重点を置いた事業を実施する中で、かかりつけ医・かかりつけ薬局等が連携し、患者に対して一元的・継続的な薬物療法を提供する状況を作っていくことが重要です。

また患者自身も病気や服薬について理解する等、「コンプライアンス」から「アドヒアランス」へと、進めることが重要です。

今後も市民の健康増進と健康寿命の延伸を図っていきます。

□ 医科（外来）の1人当たり医療費点数

	市	県	国
R2	1,327	1,534	1,597
R3	1,431	1,633	1,699
R4	1,440	1,667	1,740
R5	1,438	1,719	1,785
平均	1,409	1,638	1,705



※ 出典：国保データベース（KDB）システム
 ※ 令和5年度は令和6年3月7日時点の情報